

平成29年度 菅生中学校 学校評価アンケート結果と分析

各質問項目に対する数値は、

- 「生徒」・・・生徒自身ができていると実感しているか
 - 「保護者」・・・保護者が生徒によく指導していると感じているか、また、学校がよく取り組んでいると感じているか
 - 「学校」・・・教師が生徒によく指導していると感じているか
- ということを表しています。

数値は、4段階の回答に対し、

- 【よくそう思う・できている】を4点
 - 【だいたいそう思う・だいたいできている】を3点
 - 【あまりそう思わない・あまりできていない】を2点
 - 【全くそう思わない・できていない】を1点
- としています。

2, 5点が平均となり、3点以上がよくできていると感じているもの（赤色）、2, 4点以下があまりできていないと感じているもの（青色）となります。

	質問項目	生徒		保護者		学校		分 析
		7月	12月	7月	12月	7月	12月	
1	楽しい学校	3,2	3,2	3,4	3,5	3,4	3,4	生徒、保護者、教師ともに数値が高く、楽しく学校生活を送れている様子が伺える。
2	挨拶	3,3	3,3	3,2	3,3	3,6	3,5	生徒、保護者、教師ともに数値が高く、挨拶ができている。特に、学校ではよく指導をしている。
3	朝食	3,6	3,5	3,6	3,6	2,7	2,7	朝食を摂っている数値が高い。別の調査でも全国平均より高い結果が出ている。
4	早寝・早起き	2,9	2,9	2,8	2,6	2,9	3,1	生徒、保護者、教師いずれも平均値より高いが、教師の12月以外は、3ポイントに届いていない。
5	ゲーム・スマホの自粛	3,3	3,4	3,2	3,2	2,9	2,7	生徒、保護者は自粛しているという意識が高い。ただし、7月に調査した本校の学習アンケートの結果をみると、ゲーム・スマートフォン等を使用している時間は全国平均を上回っている結果が出ている。
6	規律とマナー	3,6	3,7	3,3	3,3	3,8	3,7	生徒、教師の数値が特に高く、規範意識を高くもって学校生活を送っている様子が伺える。
7	時間を守る	3,4	3,5	3,0	3,1	3,9	3,6	生徒、教師の数値が特に高く、時間を意識して学校生活を送っている様子が伺える。
8	計画的な学習	2,6	2,2	2,6	2,5	3,2	3,6	生徒に対し、教師は意識的に指導しているが、計画性をもって学習することがなかなか定着していない。指導の工夫や、家庭での呼びかけなどの働きかけや協力が必要である。

9	宿題	3,2	2,9	3,1	3,1	3,5	3,4	生徒の宿題を行うべきという意識は高く、家庭や学校もよく指導している。
10	家庭学習の習慣	3,0	3,1	2,7	2,9	3,3	3,4	生徒、保護者、教師ともに概ね高い数値が出ているが、7月に調査した本校の学習アンケートの結果をみると、家庭学習を1時間以上している生徒は40%、30分～1時間程度が26%、30分程度が24%、全くしない生徒が10%という結果であった。生徒の約6割が1時間未満であり、特に、全くしていない生徒が45人存在するという厳しい状況である。7月よりも12月の方が数値が若干上がっているが、家庭学習の定着を図るため、家庭と連携しながら、今後も一層、取組の工夫・改善が求められる。
11	分かるように教える学習指導	3,3	3,1			3,4	3,1	生徒、教師ともに数値が高い。
12	総合的な学習の時間における主体的な活動	2,4	2,3			2,7	3,0	生徒は、総合的な学習の時間は他の授業よりも主体的に活動する場面が少ないと感じている。生徒が自ら課題を設定したり、情報収集したり、調べたことを発表したりする活動を増やす必要がある。
13	授業の目標（めあて）提示	3,6	3,6			3,4	3,2	生徒、教師ともに数値が高い。
14	授業の振り返り活動	3,1	3,1			2,9	2,8	生徒、教師ともに数値は平均値を上回っているが、目標（めあて）の項目よりも低いので、振り返る活動を増やしていく必要がある。
15	授業における生徒の主体的な活動	3,0	2,8			2,6	2,6	生徒、教師ともに数値は平均値を上回っているが、生徒が学級や班の中で、自分たちの立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組めるよう、授業の工夫・改善が必要である。
16	授業における話し合う活動	3,1	3,1			2,9	2,7	生徒、教師ともに数値は平均値を上回っているが、生徒が考えを広げたり、深めたりできるよう、話し合い活動を増やしていく必要がある。
17	授業における書く・説明する活動	2,9	3,1			2,6	2,7	生徒、教師ともに数値は平均値を上回っているが、生徒が表現力を身に付けられるよう、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりする活動を増やしていく必要がある。
18	授業における考えを深める活動	2,8	2,8			2,5	2,5	生徒の数値は平均値を上回っているが、生徒が自分の考えを深めたり、広げたりすることができるよう、授業の工夫・改善が必要である。
19	読書習慣	2,8	2,6			2,5	3,2	生徒、教師いずれも平均値より高いが、数値が比較的低い。7月に調査した本校の学習アンケートの結果をみると、読書習慣の定着・不定着は二極化の傾向があるので、今後は、多くの生徒に読書習慣を定着させるための方法を考えたり、家庭でも読書するよう呼びかけてもらったりしていく必要がある。

20	地域活動の参加	1,9	1,8	2,1	2,2	1,6	2,0	地域活動への参加が少ない状況が伺える。地域のボランティア活動や、地域、市民センターや児童館の主催する文化祭等の行事を周知し、意義を伝えたり、参加を呼びかけたりすることで、生徒に地域の一員であることを実感させる必要がある。
21	地域活動への興味	2,7	2,7	2,6	2,7	2,6	2,8	同上
22	思いやりの心	3,2	3,3	3,3	3,3	3,4	3,6	生徒、保護者、教師ともに数値が高い。
23	良い所があると実感	2,6	2,6	3,3	3,2	3,2	3,4	保護者、教師の数値が高く、意識して生徒の良さを伝えていることが伺えるが、生徒の数値はそれほど高くない結果となっている。生徒の自尊感情を高められるような日頃からの声かけや取組を継続していく必要がある。
24	将来の夢	3,0	2,9	3,0	3,0	3,2	3,3	生徒、保護者、教師ともに数値が高い。
25	人の役に立ちたいと思う気持ち	3,5	3,5	3,0	3,0	2,8	3,2	生徒、保護者、教師ともに数値が高い。特に生徒の数値が高い。
26	運動やスポーツが好き	3,1	3,1	3,1	3,2	2,7	2,6	生徒、保護者の数値が高い。運動やスポーツを促す指導や働きかけを保健体育科以外の教師も意識して行っていく必要がある。
27	体育の授業が好き	3,2	3,2					生徒の数値は高い。
28	健康のためには運動が大切	3,6	3,6	3,7	3,7	2,7	2,8	生徒、保護者の数値が特に高い。健康と運動を促す指導や働きかけを保健体育科以外の教師も意識して行っていく必要がある。
29	開かれた学校 (情報発信)	2,7	2,7	3,3	3,4	3,6	3,4	保護者、教師の数値は3ポイントを上回っており高い。多く発行されている学校通信、学年通信、学級通信の成果が表れている。